

暴風と大雨に対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

令和8年5月1日6時05分、「暴風に関する福島県気象情報 第2号(福島地方気象台)」が発表されました。今後の気象情報に注意するとともに、農作物等の管理には十分注意してください。

発達する低気圧の影響により、2日未明から昼前にかけて、海上では西よりの非常に強い風に警戒してください。また、中通りと浜通りでは、1日昼前から昼過ぎにかけて、大雨による土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。

【気象状況】

前線を伴った低気圧が四国付近にあって、北東へ進んでいます。この低気圧は、発達しながら日本海を北東へ進み、2日朝にかけて東北地方を通過する見込みです。その後、低気圧は2日夜には千島近海に達するでしょう。

このため、海上では、東よりのち西よりの風が強まり、西よりの暴風となる見込みです。気圧の傾きが予想より大きくなった場合は、中通りと浜通りの陸上でも警報級の西よりの風となる可能性があります。また、中通りと浜通りを中心に雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所があるでしょう。雨雲が予想以上に発達した場合には、警報級の大雨となる可能性があります。

【雨の予想】

1日に予想される1時間降水量は多い所で、

中通り 30ミリ
浜通り 30ミリ
会津 20ミリ

1日6時から2日6時までに予想される24時間降水量は多い所で、

中通り 80ミリ
浜通り 80ミリ
会津 60ミリ

【風の予想】

1日に予想される最大風速(最大瞬間風速)

海上 18メートル (30メートル)
浜通り陸上 12メートル (25メートル)
中通り 12メートル (25メートル)
会津 12メートル (25メートル)

2日に予想される最大風速(最大瞬間風速)

海上 20メートル (30メートル)
浜通り陸上 15メートル (30メートル)
中通り 15メートル (30メートル)
会津 13メートル (25メートル)

【防災事項】

海上では、2日未明から昼前にかけて、西よりの暴風による交通障害に警戒してください。また、中通りと浜通りの陸上でも、西よりの強い風による交通障害や建物、農業

施設等への被害に注意・警戒してください。中通りと浜通りでは、1日昼前から昼過ぎにかけて、大雨による土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。

【補足事項】

今後発表する防災気象情報に留意してください。
次の「暴風に関する福島県気象情報」は、1日16時30分頃に発表する予定です。

【共 通】

- 1 強風に備えて、パイプハウス等の点検やビニールの補修を行いましょう。

【水 田】

1 事前対策

- (1) 増水に備え、用排水路を点検し、ゴミ等を取り除いておきましょう。
(2) 大雨により水路が増水している場合は、危険ですので近づかないで下さい。

2 事後対策

- (1) 耕起前のほ場では早急に排水を図り、乾田化に努めましょう。
(2) 田植え後のほ場で稲が水没している場合は、葉先が出るように排水しましょう。

【麦 類】

1 事前対策

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

2 事後対策

地表面に滞水が見られる場合は、溝切りなどの排水対策を行いましょう。

【野菜・花き】

1 事前対策

(1) 共 通

- ア ほ場周辺の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきましょう。水害のおそれがある地帯では、強制排水のポンプも準備しておきましょう。
イ ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修しましょう。
ウ パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょう。
エ パイプハウスやネット栽培等で支柱を使用しているものは筋交いを入れ、補強しましょう。
オ ハウス等は、天窓や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきましょう。
カ 雨よけのみのパイプハウス等は強風に弱いため、らせん杭、ハウスバンド等で浮き上がらないようにしっかりと固定しましょう。
キ は種や定植を予定しているものは、天候回復後に実施しましょう。

(2) 花き

露地栽培では、フラワーネットや支柱を点検し、倒伏や曲がりを防止しましょう。

2 事後対策

(1) 共 通

- ア 停滞水は、明きょなどで速やかな排水に努めましょう。
イ 冠水した場合は、ほ場への出入りによって土壌の物理性が悪化しないよう配慮しましょう。ぬかるむ場合は、出入りを極力避けましょう。

ウ 低気圧通過後は、ハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行いましょ。う。

なお、ハウス内に野菜等を作付中で、ビニールの修復が遅れる場合は、ハウス内の作物を低温や寒風から守るため、応急的にべたがけ資材等を被覆して保温に努めましょ。う。

(2) 花き

ア 被害程度が軽い場合でも、傷口から病害が感染することがあるため、殺菌剤など薬剤散布を行いましょ。う。

イ 被害程度が比較的軽いものについては、生育状況を見ながら葉面散布剤などで草勢の回復を図りましょ。う。

ウ 生育回復が望めない株については、そのまま放置すると病害虫等の感染源になる場合もあるため、速やかに処分し補植を行いましょ。う。

【果 樹】

1 事前対策

(1) りんごのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認しましょ。う。

(2) 立木では主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期してください。

(3) 果樹棚等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょ。う。

2 事後対策

長時間に渡る浸水や滞水は根や葉の呼吸を阻害し、生育不良や枯死を招くので速やかに対策を実施してください

(1) 滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょ。う。

(2) 土砂が流入した園地では、根の呼吸を助けるため、なるべく早く樹冠下の土砂を取り除きましょ。う。

(3) 枝葉や果実などに泥が付着した場合はできるだけ早く洗い落とし、病害の発生を防ぐため適切に薬剤散布を実施しましょ。う。なお、定期散布が近い場合は、この散布に置き換えて実施してください。

(4) 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。

(5) 大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻しましょ。う。さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めます。

(6) 果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょ。う。

【畜産・飼料作物】

1 事前対策

(1) 強風による畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊及び風雨等の吹き込みを未然に防止するため、畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎及び排水溝等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等を行いましょ。う。

(2) 開放された飼料の保管場所では、飼料をシートで覆うなどして、風雨がかからないようにしましょ。う。

(3) 堆肥舎は、風雨等の吹き込みにより、堆肥や汚水が流出することが心配されますので、堆肥をシートで覆うなどして、流出を防止しましょ。う。

(4) 停電や断水時等の対応をあらかじめ確認し、被災時には、自家発電機等による搾乳や生乳冷却等の対応ができるよう準備しておきましょ。う。

2 事後対策

- (1) 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょう。
- (2) 滞水している草地や飼料畑は、明きょなどを点検し、速やかに排水しましょう。
- (3) 豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ

以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>